



9月27日はUNWTO（国連世界観光機関）が定めた「世界観光の日」。
今年のテーマは「観光とコミュニティ・ディベロプメント（地域の発展）」。
和歌山市のご協力のもと、和歌山市役所エントランスホールにて、
和歌山大学観光学部の地域での観光振興に関わる活動をパネルで紹介します。

世界観光の日 2014 in わかやま

～地域と考える “観光” ～

2014年 9月26日（金）～30日（火）

8時30分～17時15分
（和歌山市役所開庁時間）

和歌山市役所 1階エントランスホール

主催 和歌山大学観光学部
協力 和歌山市

お問い合わせ先

和歌山大学観光学部 観光教育研究センター

〒640-8510 和歌山市栄谷 930

TEL/FAX 073-457-8553

E-mail tourism-er@center.wakayama-u.ac.jp



about 世界観光の日 World Tourism Day (WTD)

World Tourism Day (WTD) とは、観光の重要性とその社会的、文化的、政治的、そして経済的な価値への理解を深めるために制定され、毎年9月27日と定められています。

本イベントは、国連が定めるミレニアム開発目標 (MDGs) に示された世界的な課題に対し、観光がその解決に寄与することを世界にアピールすることを目指しています。

WTD (世界観光の日) は、1979年にスペインのトレモリーノスにおいて開催された UNWTO (国連世界観光機関) の年次会議で制定され、翌年施行されました。9月27日が選ばれたのは、同日が1970年に世界観光憲章が採択された日という、世界の観光にとって重要な記念日であるためです。また、北半球では観光シーズンが最盛期を過ぎ、一方で南半球では観光シーズンがスタートする9月下旬は、世界中の人が観光について意識する時期でもあるからです。

今年は **Tourism and Community Development (観光とコミュニティ・ディベロプメント (地域の発展))** をテーマに、地域で暮らす人々が主体となって地域を変えていくために観光には何ができるのかを考えていきます。

本テーマでは、地域への愛着が持続可能な発展に重要であることと同様に、観光が地域に多様な機会をもたらすことが強調されています。世界観光の日には、メキシコのグアダハラハラにおいて公式イベントが催されることとなっており、本展示は、世界各地で行われる UNWTO 認定イベントです。

about 和歌山大学観光学部

感動と出会いを創造する。

Love your place Share it with the world

観光のエキスパートを育成 和歌山という地の利を活かし、新しい観光学を創造します。

近年、わが国は「観光」を戦略産業と位置づけ、観光立国に向けて官民一体で取り組んでいます。和歌山県においては「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録で、国際的に注目を集めるなか、「観光立県宣言」を掲げ、「観光」を核とした地域再生に積極的に取り組んでいます。和歌山大学観光学部はこれら恵まれた環境を活かし、全国、そして世界をフィールドに、観光産業・行政の現場と密接に連携した新しい観光学を創造します。また、観光を支えるにふさわしい豊かな教養と専門性を備えたエキスパートを育成します。

観光学部の特色

① 多様な領域にアプローチする観光学

観光学は人間の生活・文化に関わるあらゆる分野を総合した学問のため、人文・社会科学から自然科学まで、幅広い分野を学べるカリキュラムを整えています。

② 実践力を養う「現場」での学び

大学にふさわしい観光理論の研究とともに、フィールドワークや海外インターンシップなどを通じて、常に地域や観光の最前線におもむいて学ぶことができます。

③ IT教育や語学教育、日本文化に関する科目も充実

観光に携わる人材にふさわしい教養の醸成を重視し、ユニークな科目を多数用意。茶道・華道などの日本文化、英語をはじめとする外国語教育、IT教育などの授業が非常に充実しています。

観光学部TOPICS

近畿文系で 2年連続 就職率1位!

充実したキャリアサポートで満足度の高い就職を実現

観光学部の就職率が、週刊東洋経済の特集「本当に強い大学」(2013年11月2日号)において、2年連続で、近畿文系ランキング1位(全国文系ランキング17位)となりました。

博士課程 2014年4月設置!

観光立国を担うリーダーの養成。世界水準の観光学研究の拠点

大学院観光学研究科に、博士課程が設置されました。観光学部から観光学研究科修士課程、そして博士課程へと、観光学研究の中心拠点として、観光立国のリーダーとなる高度な人材養成を目指します。

GIP

海外研修 海外インターンシップ

自分自身で世界を体験しながら、観光の「今」に触れることができます。

社会のあらゆる場面でグローバル化が進む現代において、観光のスペシャリストをめざす学生には、世界を肌で感じる経験が必要不可欠です。そのため観光学部では、海外研修・海外インターンシップなどを通じて学生が世界に触れる機会を豊富に用意しています。



LIP

地域インターンシップ

地域が抱える課題を住民とともに発見し、その解決方法を考える。

地域インターンシップでは、学生は自らの関心や問題意識にもとづいてグループを形成し、地域を訪問したり、滞在したりして、観光施設の視察や就業体験、宿泊施設や農家民泊のモニターなど、さまざまな調査活動に取り組みます。

